



報道機関各位

DXを活用した安全・安心な社会資本整備と持続可能な未来のために

「技術者交流フォーラム事業(第40回)in釧路」を開催

第40回技術者交流フォーラム事業in釧路は、地域で求められる技術開発に関する情報交換や産学官の技術者交流のため実施します。今回のフォーラムは、人口減少や高齢化による労働力不足に対応するため、発展するデジタル技術を活用した取組みについて紹介します。

- 開催日：令和4年10月6日(木) 13:30~17:05
- 場所：釧路センチュリーキャッスルホテル 3階 釧路市大川町2-5
- 主催：国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
公益社団法人日本技術士会北海道本部
- 後援：国立大学法人北海道大学大学院工学研究院、(一社)釧路建設業協会、
釧路測量設計業協会、釧路市
- 基調講演
安全・安心で豊かな未来社会に導くデジタル技術
～Edge-AIによる映像データ解析と現実世界の定量化～
北海道大学大学院工学研究院先端モビリティ工学研究室 准教授 高橋 翔 氏
- 技術者交流(展示ブース)
DXに関連する展示パネルや動画を(講演会場の隣)展示ブースにて用意しておりますので、是非ご覧ください。
- 一般講演
 - ・釧路開発建設部におけるi-Constructionの取組
釧路開発建設部 技術管理課長 長屋 延和 氏
 - ・デジタルカメラを用いた鋼橋の3次元出来管理
公益社団法人日本技術士会北海道本部地方委員会道東技術士委員会 佐藤 孝英 氏
 - ・ドライブレコーダー撮影画像からポットホールを検出する技術
寒地土木研究所 寒地道路保全チーム 上席研究員 丸山 記美雄
- 参加申込期限 令和4年9月30日(金) まで
※下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所 イベント情報」からお願い致します。
<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>
- ※参加費:無料
- ※(公社)土木学会CPD認定プログラム
- ※(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS認定プログラム

<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	<input type="checkbox"/> 非公開
取材ご希望の方は、下記まで御連絡ください。(直接会場にお越しいただいても結構です。)		

問い合わせ先			
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所			
寒地技術推進室	室長	かわばた 川端 いくお 郁雄	730(内線)
	総括主任研究員	ひなた 日向 まさのり 正典	731(内線)
		TEL : 011-590-4047(直通)	

第40回 技術者交流フォーラム事業 in釧路

DXを活用した安全・安心な 社会資本整備と持続可能な未来のために

2022/10/6(木) 13:30~

釧路センチュリーキャッスルホテル 3階

- ・講演会「鳳の間」
- ・展示ブース「孔雀の間」

入場無料、定員150名
事前予約制・座席指定

- ▶開会挨拶 (13:30~) 釧路開発建設部長 井上 勝 伸
- ▶来賓挨拶 釧路市長 蝦名 大也氏
- ▶基調講演
『安全・安心で豊かな未来社会に導くデジタル技術
~Edge-AIによる映像データ解析と現実世界の定量化~』
北海道大学大学院工学研究院 先端モビリティ工学研究室 准教授 高橋 翔氏
- ▶技術者の交流 (展示ブース・休憩)
- ▶一般講演
『釧路開発建設部における i-Constructionの取組』
釧路開発建設部 技術管理課長 長屋 延和
『デジタルカメラを用いた鋼橋の3次元出来形管理』
(公社)日本技術士会 北海道本部 地方委員会 道東技術士委員会 佐藤 孝英
- 『ドライブレコーダー撮影画像からポットホールを検出する技術』
寒地土木研究所 寒地道路保全チーム 上席研究員 丸山 記美雄
- ▶閉会挨拶 (17:00~) 寒地土木研究所長 竹内 正信

お申し込みは

寒地土木研究所HP

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

をご覧ください。



寒地土木研究所HP



〒085-0837 釧路市大川町2-5
TEL:0154-43-2111
<http://www.castlehotel.jp/>

主催 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
公益社団法人日本技術士会北海道本部
後援 国立大学法人北海道大学大学院工学研究院
(一社)釧路建設業協会、釧路測量設計業協会
釧路市

第40回技術者交流フォーラム事業in釧路は、地域で求められる技術開発に関する情報交換や産学官の技術者交流のため実施します。今回のフォーラムは、人口減少や高齢化による労働力不足に対応するため、発展するデジタル技術を活用した取組みについて紹介します。

《 基調講演 》

➤ 13:40~14:40



『安全・安心で豊かな未来社会に導くデジタル技術 ～Edge-AIによる映像データ解析と現実世界の定量化～』

北海道大学大学院工学研究院

先端モビリティ工学研究室 准教授 高橋 翔 氏

【略歴】平成20年 北海道大学工学部情報工学科卒業

平成25年 北海道大学大学院情報科学研究科 特任助教

平成30年 北海道大学大学院工学研究院 准教授（現在に至る）

AIやIoTを活用した、より発展的な情報社会になりつつある。本講演では、映像解析を可能とするEdge-AIによる現実世界のデジタルツイン化とその活用に向けた取組を紹介いたします。

《 技術者交流（展示ブース・休憩） 》

➤ 14:40~15:20



技術者交流の場として展示ブースを開催していますので、どうぞご覧ください。（講演会場の隣で開催しております）

【出展者一覧】

釧路開発建設部、寒地土木研究所、日本技術士会北海道本部、北海道大学大学院工学研究院、（一社）釧路建設業協会、釧路測量設計業協会、釧路市

《 一般講演 》

➤ 15:20~17:00



➤ 15:20~15:50

『釧路開発建設部における i-Constructionの取組』

釧路開発建設部 技術管理課長 長屋 延 和

i-Constructionについて北海道開発局の取組および釧路開発建設部の取組事例について紹介いたします。



➤ 15:50~16:20

『デジタルカメラを用いた鋼橋の3次元出来形管理』

(公社)日本技術士会 北海道本部地方委員会 道東技術士委員会 佐藤 孝 英

鋼橋の工場製作時において、部材をデジタルカメラで撮影して得られた画像データにより、出来形管理を実施した事例について紹介いたします。



➤ 16:30~17:00

『ドライブレコーダー撮影画像からポットホールを検出する技術』

寒地土木研究所寒地道路保全チーム 上席研究員 丸山 記美雄

道路を走行して取得したドライブレコーダー画像から、深層学習の手法を用いてポットホール損傷箇所を検出する技術の開発状況や、活用方法に関して紹介いたします。

参加者の皆様へお願い

新型コロナウイルス感染の予防、拡散防止にあたり、ご来場の皆様には下記項目にご協力をお願い申し上げます。

・原則、事前申し込みをされた方のみ参加とさせていただきます。

また、申し込み時のQRコードをスマートフォン画面もしくは印刷でご持参願います。

・37.5℃以上の発熱、咳の症状がある等、当日の体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えください。

・場内はマスクの着用をお願いいたします。

・会場内に消毒液を設置し、入場時に検温を実施いたします。こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。

・ソーシャルディスタンス確保のため、会場内の座席制限を行います。

・接触確認アプリ(COCOA)のインストールをお願いいたします。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

本フォーラムは、下記プログラムに認定されています。



(公社)土木学会 継続教育(CPD)プログラム

認定番号：JSCE22-1041

認定単位：2.5単位

CPDS
744207
3 unit

(一社)全国土木施工管理技士会連合継続学習制度(CPDS)プログラム